

## タブレットを使って

## &lt;1 学期&gt;

5年生では、総合的な学習の時間「情報を発信しよう」で取り組んだ地域安全マップづくりに、クロームブックを活用しました。

地域の危険なところ、安全なところを写真付きでまとめた発表用資料の作成に活用したのは、スライドの機能です。自分の好きなレイアウトを簡単に作ることができ、子供たちの作業もはかどっている様子でした。特に伝えたい情報には、文字の大きさや色に変化をつけたり、アニメーション機能を使って強調したりする工夫も見られました。

出来上がったスライドは、クラスルームの機能を活用して、一人一人のクロームブックから全員のスライドを見ることができるようにしました。1作品を複数クロームブックから同時に見ることができるので、友達の作品をじっくりと鑑賞することができました。

また、クラスルームにあるコメントの機能を利用して、スライドを見た感想の伝え合いも行いました。コメント欄では多くの子供たちが、感想の交流を行っていました。

クロームブックには、いろいろな可能性を感じています。今後も様々な学習活動に取り入れながら、より効果的な活用法を見つけていきたいと思います。

## &lt;2・3 学期&gt;

2学期は、国語「グラフや表を用いて書こう」の学習で、社会がどのようによりよくなっているか説明する文章を書く活動に、タブレットを活用しました。

文章を書くためには、社会がどうよくなっているか、自分の考えをもたなければいけません。そこで、タブレットのジャムボードというソフトを使って、友達と意見を交流し、考えを広げる授業に取り組みました。ジャムボードには付箋機能があり、付箋に考えを書き込むと全員が同時に閲覧することができます。これを小グループごとに使用できるように設定して、意見をジャムボード上で出し合えるようにしました。普段発表が苦手な児童も、ジャムボードを利用することで、積極的に意見を伝えられていました。

3学期には、総合的な学習の時間「練馬をもっと知ろう・深めよう」で、他校とオンライン交流会を開催しました。まずは、発表用の資料作りにタブレットを活用しました。1学期に取り組んだスライド作りの力を発揮して、作成することが出来ました。さらに、交流の場面でもタブレットの Meet 機能を活用してオンラインで繋がりました。直接会うのが難しい時期でしたが、タブレットを活用すれば、校外との交流が可能になることが、実感できました。

様々な学習をさらに広げていくツールであることを、確認することができた、2・3学期でした